

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日 更新

事務事業名		青少年教育関連事業(成人式)					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	武田 直子
	基本事業	41	地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	生涯学習班	(内線)	1513
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番10333	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」の趣旨のもと、毎年1月に成人式典を開催している。毎年出席者は約500人前後となっている。式典は、新成人者で組織した実行委員会が企画から運営まで実施している。式典の概要は、市長式辞、来賓祝辞、新成人誓いのことばのほかにはアトラクションを行なっている。
【業務の流れ】	①実行委員の選出(HP、広報で公募)②実行委員会の開催(年1回)③来賓等式典関係者へ出席依頼文の発送④記念品の発送⑤リハーサルの実施
【主な予算費目】	報償費(出演者謝金、手話通訳謝金、成人者記念品)、消耗品費(装花代、プログラム用紙代)、印刷製本費(成人者集合写真代)、役務費(案内用切手代、写真送付用切手代)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	大人としての自覚を持ってもらい、地域の人材として育ててもらいたいとの声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO) 平成27年1月11日にヴィーブル文化会館にて式典開催。新成人484名出席(出席率70%)式典内容はZINDAIK0Iによるダンス、その後市長挨拶、来賓挨拶、交通安全宣言、記念品(オリジナルタンブラー)贈呈、恩師のことば、西合志弁天太鼓保存会による演奏、誓いのことばインタビュー、成人者謝辞を行なった。終了後には会場で全体記念写真撮影を行なった。		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成28年1月10日にヴィーブル文化会館にて成人式典開催。内容についてはほぼ例年通りの予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:成人式典出席人数	人	式典に手話通訳をつけることとしたことによる手話通訳謝礼の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→イ:新成人(平成6年4月2日~平成7年4月1日生まれ)となる市民	人	→ア:新成人となる市民の人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→イ:地域づくり人材として育てている	人	→ア:合志市地域づくりネットワークに登録された団体構成員数
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①活動指標	人	人	510	458	500	484	500	500	500	500
②対象指標	人	人	652	644	550	686	550	550	550	550
③成果指標	人	人	371	381	505	391	541	577	613	649
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	605	627	777	626	690	759	759
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	605	627	777	626	690	759	759
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)の人件費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正規職員従事人数	人	7	6	10	9	10	10	0
		延べ業務時間	時間	543	525	440	502	440	440	440
	(B)人件費計	(B)人件費計	千円	2,210	2,091	1,752	1,999	1,752	1,752	1,752
トータルコスト(A)+(B)		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,815	2,718	2,529	2,625	2,442	2,511	2,511

事務事業名	青少年教育関連事業（成人式）	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

※原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 少子高齢化や希望する就職先等がなく若者の流出が多くなっているが、今後、本市を活性化させるためには若者の協力を必要とするため、成人式を機会に啓発活動を行なっているが、現状では地域に密着した若者の活動は少ない。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 昨年度より出席者数の割合は上がっているから。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある⇒【理由】 式典内容を、来賓からの挨拶に終始することなく、新成人が「自分たちの市のために何かをしたい」と思わせる内容にし、若者の琴線に触れる催しを検討していけば、もっと成果を向上させることが出来るから。 ☐ 向上余地がない⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 成人者を限定とした事業であり、他に類似した事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある⇒【理由】 最低限の経費で事業をおこなっているため、削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある⇒【理由】 多数の若者に式典出席を求める以上、必要な職員配置は必須であり、現状でも式典当日はボランティアの方にもお手伝いいただいているので、これ以上の人件費の削減は困難であるから。 ☒ 削減余地がない⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 対象者である新成人者の、大人としての新しい門出を祝福する事業であり、受益者負担の考え方はなじまないと思われるから。 ☒ 公平・公正である⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 式典の段取りは担当課が主体となっており、アトラクションについては、実行委員会により企画・運営を行なっていることから、役割分担は適正である。 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

比較的早く入場があり、終了後もその後の予定があるためか1時間ほどでほとんどいなくなった。また、女性の着付け等の準備が楽との声があった。開式時に着席しない者が出ることから、オープニングにダンスを入れたり、退屈しないように記念演奏時間を短縮したこと等で、とてもまとまりのある式となった。来賓の方からもお褒めの言葉をいただいた。記念撮影について、出席者を一括して会場内で撮影するようになったため、整列方法もう少し検討する必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								